

（ご意見の概要）

・公共インフラ施設や工場等の産業観光について、特撮テレビ番組の撮影が市内の各所で行われているが、こうした情報があまり知られておらず、また普段は立ち入ることができない場所もあるため、せっかくの聖地巡礼資源が生かされていない。

・聖地巡礼資源を生かすためには、「普段立ち入れない場所に立ち入ることができるガイドツアーの実施」と「わかりやすい撮影スポットの整備」が必要である。

・市の観光イベントの企画やグッズ制作等の発注を行う場合、市内事業者を優先して採用する仕組みを作ることで、市民にとっても「観光事業は市の経済に寄与する」ことが可視化されるため、イメージの向上にも繋がる。

（市の考え方）

本市では、ロケーションサービス（撮影支援）を積極的に推進していくために、稲城市観光協会、民間の専門会社と連携のうえ稲城ロケーションサービスを組織し、ご意見をいただいた特撮テレビ番組を含め、建物や公園等の撮影場所の紹介、施設使用申請等の諸手続き、撮影時の立会いなど、様々なロケーション活動の支援を行っております。

今後、稲城ロケーションサービスを通じた撮影実績が積み上げられていく過程で、ロケーションツーリズムの取組みとして、ロケ地マップの制作やロケ地を巡るウォーキングツアーの開催等も検討しており、いただいたご意見も参考にしながら、ロケーション撮影を通じた観光振興並びに地域振興に努めてまいります。

また、第二次稲城市観光基本計画では、取り組むべき施策に、「イベント等の開催にあたり、市内事業者と積極的な連携を図るとともに、協力関係を築くことを通じて、関連産業の育成に努めます。」と掲げておりますので、市内の観光に関連する事業者と一体となって、観光振興並びに地域経済振興に努めてまいります。